



広報

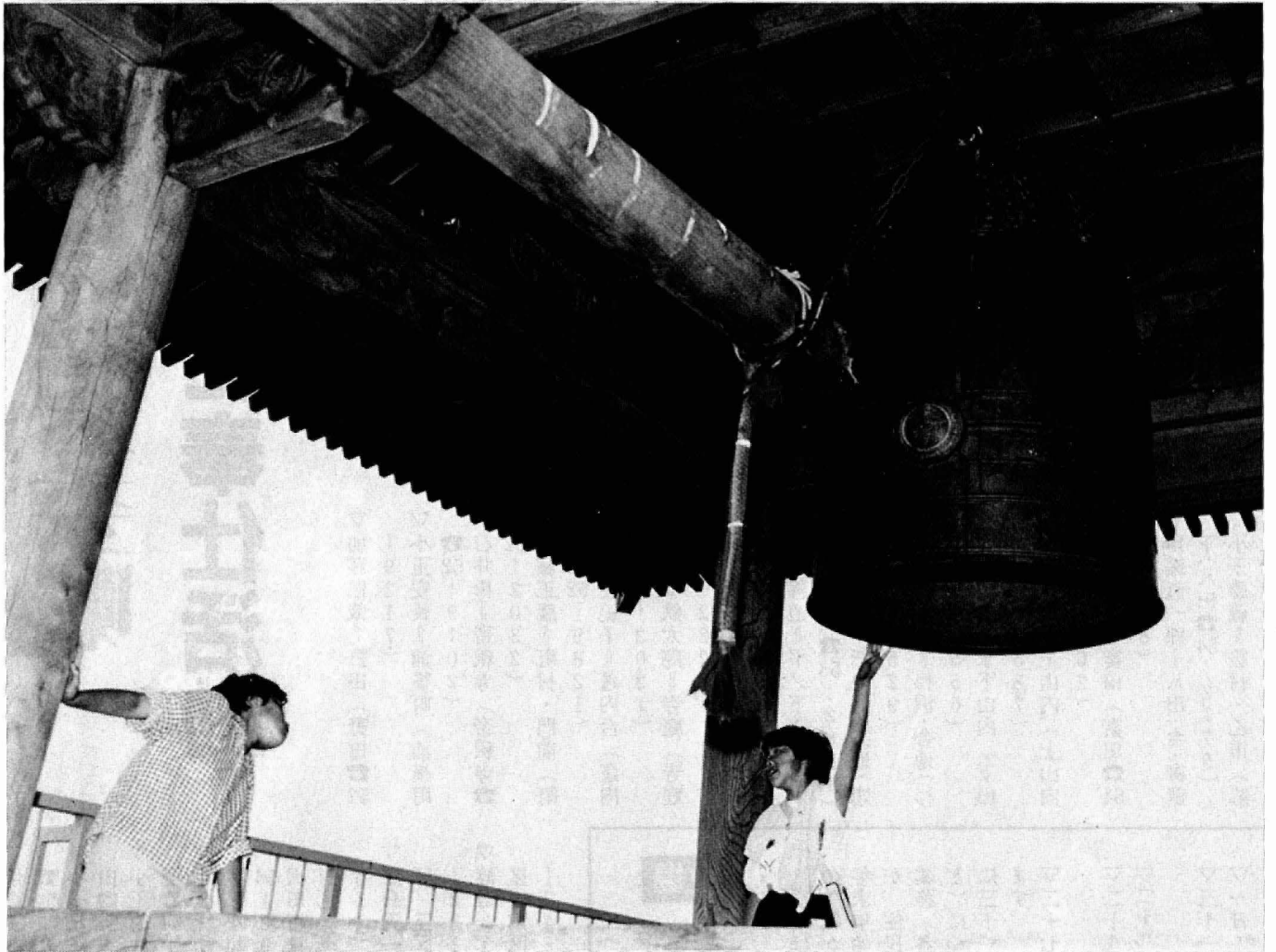
ごじょうめ

昭和61年

12月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 554



重さ一トン以上もある「希望の鐘」は町民みんなの鐘

(広報紙中にある写真を欲しい方に)
おあげします

森山の山頂に建つ鐘楼。その中に重さ一一五キロ(二百貫)、高さ一八センチ(六尺)、直径九センチ(三寸)の大きな梵鐘が納められています。この梵鐘は、本町浅見内出身の松橋福蔵さんご夫妻(東京都在住)が、町村合併二十五周年を記念し、郷土の平和と町民の幸せを願って町に寄贈されたもので、町長がこれを「希望の鐘」と命名しました。

寄贈者の松橋さんは、梵鐘の持つ宗教的な意味をできるだけ少なくしたいと考えて、一般的な模様の代わりに十二支をつけることにしました。十二支は子(北)、卯(東)、午(南)、酉(西)に当たり、希望の鐘の十二支も鐘楼からの方位にあわせてあります。また、だれでも十二支のどれかの当たり年であることから、一人ひとりの名前に代えて十二支を刻んだものです。希望の鐘には、信仰や身分などに関係なく、みんなの鐘であるという松橋さんの気持ちが入められています。

希望の鐘

町の施設



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430

民生児童委員に49人委嘱

福祉増進のために奉仕活動

民生児童委員は、地域社会の福祉を増進することを目的に、厚生大臣が委嘱した民間の奉仕者です。町内には四十九人の民生児童委員があり、それぞれの担当区域を受け持ち、生活に困っている人や、そのおそれのある人、保護を必要とする人たちに對し、指導や援助を行っています。生活費や家族関係などの問題で困ったときは、民生児童委員に相談してください。

民生児童委員への委嘱状の交付は、十二月八日、役場正庁で行われ、町長から一人ひとりに委嘱状が手渡されました。委嘱された町内の民生児童委員は（昭和六十一年十二月一日改選）新任十三人、再任三十六人。任期は三年。

民生児童委員の仕事を、地域住民の生活状態を把握し、生活に困っている人たちの自立更生を援助することです。また、福祉事務所や町などの行政機関、社会福祉施設と協力、連絡し合い、それらの機能を助けるなど広範囲に及んでいます。

このほか、主として低所得者を対象として、生活上のあらゆる心配ごとの相談に應じており、世帯更生資金制度の実施面にも大きな役割を果たしています。また、児童福祉の増進にも重要な任務を持っています。

民生児童委員のお名前と担当区域は次のとおりです。（内は住所と電話番号。）

（敬称略・順不同）

- ▽伊藤多右エ門〓落合（落合 54-2051）
- ▽伊藤久夫〓黒土（黒土 54-2706）
- ▽小玉星子〓高田・千日（高田 54-2069）
- ▽石井久一〓小倉（小倉 52-9691）
- ▽小玉徳太郎〓北村・高樋（高樋 54-2019）
- ▽浅野慶一郎〓大川一区（大川一区 75-2671）
- ▽小玉ミネ〓湯ノ又一区、二区・小川口（湯ノ又二区 54-2937）
- ▽浅野巳之松〓大川二区・下樋口（大川二区 75-2564）
- ▽沢田石鉄美〓湯ノ又三区、四区（湯ノ又四区 54-2611）
- ▽北島宇一郎〓大川三区（大川一区 75-2048）
- ▽工藤秀一〓浅見内一区、二区、三区（浅見内二区 54-2318）
- ▽田口ヒサ〓大川四区（大川四区 75-2181）
- ▽渡辺シゲ〓浅見内四区、五区、六区（浅見内六区 54-2452）
- ▽千田ミチコ〓西野（西野 52-9234）
- ▽加藤正松〓谷地中・石崎・曙町（石崎 75-3260）
- ▽加藤信哉〓野田（野田 52-9217）
- ▽小玉安長〓浦横町（浦横町 52-9102）
- ▽石井勇〓帝釈寺（帝釈寺 52-2032）
- ▽伊藤正蔵〓町村・門前（町村 52-9821）
- ▽千田安紀子〓蓬内台（蓬内台 53-2021）
- ▽佐々木鉄太郎〓寺庭（寺庭 53-2224）
- ▽石井幸男〓中村（中村 53-2638）
- ▽川島善道〓平ノ下・小野台・水沢（水沢 53-2851）
- ▽小玉勇悦〓恋地・坊井地（恋地 53-2529）
- ▽石川延太郎〓杉沢・合地（杉沢 53-2556）
- ▽大石賢之助〓下山内（下山内 52-9587）
- ▽大石良雄〓上山内（上山内 52-9662）
- ▽阿部金一〓富田（富田 54-2498）
- ▽伊藤直一郎〓八田・台・御蔵下（八田 54-2179）
- ▽小玉勝蔵〓脇村・乙市（脇村 54-2123）
- ▽加藤信哉〓野田（野田 52-9217）
- ▽小玉安長〓浦横町（浦横町 52-9102）
- ▽石井勇〓帝釈寺（帝釈寺 52-2032）
- ▽伊藤正蔵〓町村・門前（町村 52-9821）
- ▽千田安紀子〓蓬内台（蓬内台 53-2021）
- ▽佐々木鉄太郎〓寺庭（寺庭 53-2224）
- ▽石井幸男〓中村（中村 53-2638）
- ▽川島善道〓平ノ下・小野台・水沢（水沢 53-2851）
- ▽小玉勇悦〓恋地・坊井地（恋地 53-2529）
- ▽石川延太郎〓杉沢・合地（杉沢 53-2556）
- ▽大石賢之助〓下山内（下山内 52-9587）
- ▽大石良雄〓上山内（上山内 52-9662）
- ▽阿部金一〓富田（富田 54-2498）
- ▽伊藤直一郎〓八田・台・御蔵下（八田 54-2179）
- ▽小玉勝蔵〓脇村・乙市（脇村 54-2123）
- ▽加藤信哉〓野田（野田 52-9217）
- ▽小玉安長〓浦横町（浦横町 52-9102）
- ▽石井勇〓帝釈寺（帝釈寺 52-2032）
- ▽伊藤正蔵〓町村・門前（町村 52-9821）
- ▽千田安紀子〓蓬内台（蓬内台 53-2021）
- ▽佐々木鉄太郎〓寺庭（寺庭 53-2224）
- ▽石井幸男〓中村（中村 53-2638）
- ▽川島善道〓平ノ下・小野台・水沢（水沢 53-2851）
- ▽小玉勇悦〓恋地・坊井地（恋地 53-2529）
- ▽石川延太郎〓杉沢・合地（杉沢 53-2556）
- ▽大石賢之助〓下山内（下山内 52-9587）
- ▽大石良雄〓上山内（上山内 52-9662）
- ▽阿部金一〓富田（富田 54-2498）
- ▽伊藤直一郎〓八田・台・御蔵下（八田 54-2179）
- ▽小玉勝蔵〓脇村・乙市（脇村 54-2123）

役場

年末年始の休み12月28日～1月4日 窓口業務は31日正午まで

役場は、十二月二十七日の午後から一月四日まで、年末年始の休みになります。が、住民課と税務課の窓口業務（各種証明書の発行など）については、次のように三十一日の正午まで行います。

12月29日～1月5日 温水プール休みます

屋内温水プールは、十二月二十九日（月）から来年の一月五日（月）まで、年末年始と清掃のため休館します。

▽二十七日（土） 午後零時半まで
▽二十八日（日） 休み
▽二十九日（月）、三十日（火） 午後五時まで
▽三十一日（水） 正午まで
▽一日～四日 休み
なお、一月六日からは平常どおり開館します。

観光協会の活性化を図る

会員・会費など検討

五城目町観光協会（会長・荒川豊治氏）では、十一月二十八日、商工会館で理事会を開き、同協会の活性化を図るため、現在の組織と運営の見直しを行いました。

理事会では、荒川会長ら八委員で編成された企画委員会から「観光協会の組織と運営に関する報告書」が提出され、この報告書を基に検討、次の事項を了承しました。

- ①個人の資格
- ②業界に組織がない場合、また個人、団体を問わず、協会の趣旨に賛同した者は会員となることができる。
- ③六十二年度からは、申し込みにより会員の意志を確認し、正会員または、賛助会員名簿に登載する。
- ④会費の賦課基準と徴収方法は理事会で定める。
- ⑤賦課基準で業種別に額を割り当て、会員個々の額および徴収方法は、業界毎の協議に任せる。
- ⑥業界に組織がない場合、また個人、団体を問わず、協会の趣旨に賛同した者は会員となることができる。

たはいずれの業界にも属さない会員については、協会が直接賦課徴収する。

▼理事会の機能強化
理事会の中に「総務」「宣伝」「事業」の部会を設け、二十五人の理事はいずれかの部会に所属し、それぞれの業務を分担する。

▼町のセールスポイント
近年の観光ニーズに合わせ「古い伝統と新しい息吹きの町」というイメージを売り出したい。具体的には「朝市」

「職人の町」「五城目城」「タマコモチ」「番楽」「溪流釣り」に力点を置き、パンフレット、新聞、テレビ、口コミなどによりPRする。

▼観光的なイベントへの対応
これまで「番楽競演会」「市神祭」「全町盆踊り大会」「産業文化祭」に協賛してきたが、今後、「子供の祭典」「馬場目川下り大会」「全町スキー大会」などへの協賛も検討する。

▼事業と資金
①昭和六十二年度には次の事業を実施したい。

- ・雀館公園の桜まつり
- ・案内板の設置
- ・山ゆりの里造成
- ・テレホンカードの作成
- ・ミス五城目コンテスト
- ・諸行事の協賛

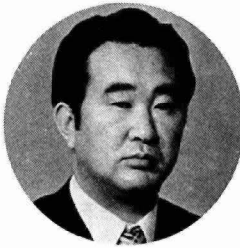
②事業資金として、会員会費の大幅な引き上げは困難な状況にある。そこで、今までの桜まつりの寄付金を会員会費に切り替え、協会の総予算に占める会費の比率が高い財源構造に改め、その上で町、商工会に応分の助成を働きかける。

臨時議会

大手町営住宅の廃止と教育委員の選任を審議

第二回臨時町議会は十一月二十七日開かれ、任期満了に伴う教育委員の選任と、町営住宅設置条例の一部を改正する条例案、町営住宅使用条例の一部を改正する条例案を審議し、三議案を原案通り可決、同意しました。

教育委員に渡辺氏を再任
教育委員に渡辺靖彦氏（四



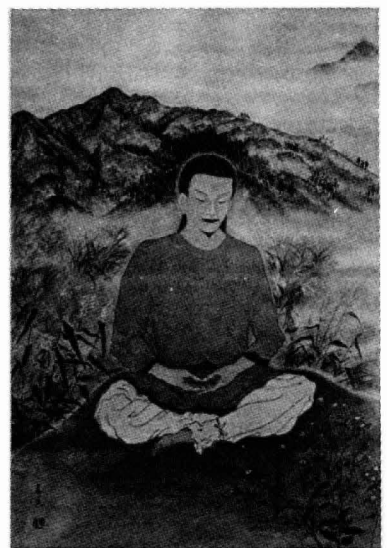
渡辺 靖彦氏

渡辺氏は、十一月三十日で任期満了となるため改めて選任されたもので三期目。昭和五十五年からは教育委員長を務められています。

大手町営住宅を廃止
大手町営住宅一戸（内川黒土字千刈台二の内）が、老朽化したため廃止になりました。

この住宅は当初、東北電力の散宿所として富津内村が建築。昭和三十五年からの住宅として使用され、現在は空家となっていました。

庁舎ギャラリーご案内



小玉さんの作品
「羽黒に入った蜂子皇子」

小玉さんの日本画と墨絵を展示

庁舎玄関ロビーでは、十二月一日から、小玉華水さん（本名トシ・館町）の日本画と墨絵を展示しています。展示作品は十八点で、展示期間は十二月二十七日まで。

小玉さんは、女子師範時代、日本画の山岸芳雄氏に師事。戦後、蘭を描いては日本一と言われた

泉川白水氏から、水墨画の基本を学びました。現在、大調和会の会友で無鑑査、同会の展示会で二十回入選しています。大調和会は日展、院展など他の会に所属している人でも入会でき、武者小路実篤氏を会長に設立。毎年、東京都立美術館で会期展が開かれます。

馬場目・杉沢・富津内保育所

保育児を募集

馬場目、杉沢、富津内の各保育所で、昭和六十二年度の保育児を募集します。入所申

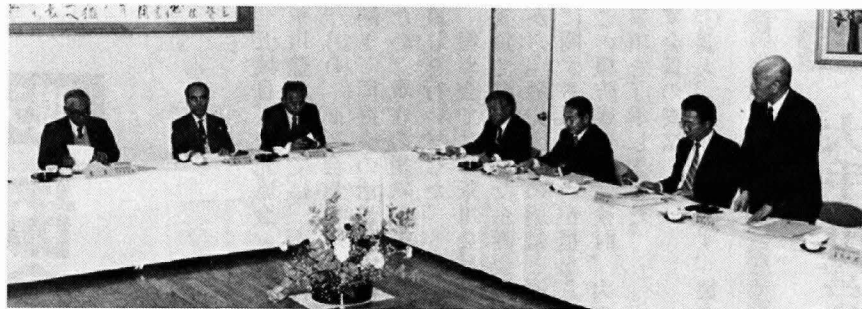
請書の受け付けは、一月二十二日と二十三日、役場住民課と各保育所で行います。

▽募集対象
昭和五十六年四月二日～五十九年四月一日生まれ（三

- △対象地域
- ・馬場目保育所：帝釈寺から水沢までの馬場目地区
- ・杉沢保育所：恋地、坊井地、杉沢、合地
- ・富津内保育所：上山内、下山内、富田を除く富津内地区

国際化に対応した農業問題懇談会

林業視察のため来町 町長、現状と問題点説明



林業の現状について説明する町長(右)

農林水産、経済界の幹部、学識経験者で構成している「国際化に対応した農業問題懇談会」の一行十三人が、十二月三日、林業の実情を視察するため本町を訪れました。

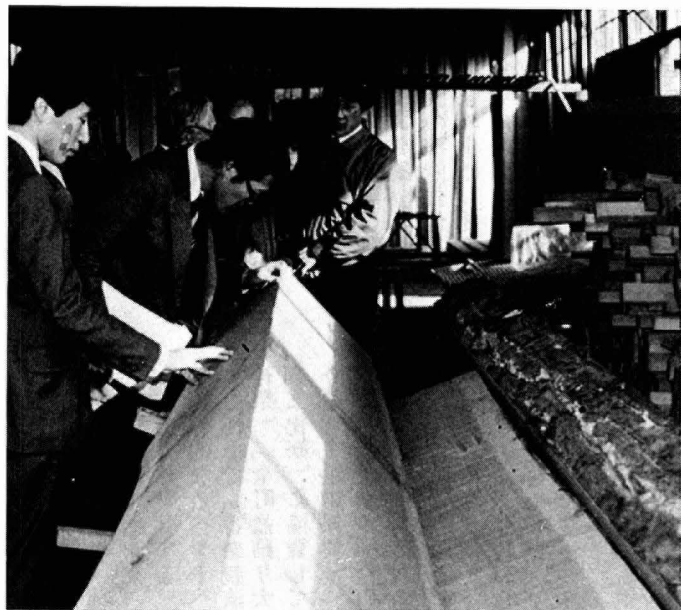
同会は昭和四十五年に発足。これまでに十七件の提言、要望を関係機関に提出しています。同会の座長は、東京大学名誉教授の川野重任氏。川野氏は、首相の諮問機関である農政審議会の会長も務められています。

一行は十二月二日に秋田入りし、西仙北町の複合経営農家や、神岡町の県畜産試験場などを視察。翌三日、林業の町として知られている本町を訪れたもの。

役場に到着した一行は、町長らの歓迎を受けた後、木材を随所に活用した庁舎を視察。次いで、木造一戸建ての矢場崎公営住宅や町内の製材工場、木材流通センターを見て回りました。また、森山山頂にも足を運ばれ、町の地形につい

て町長の説明を受けました。

この後、赤倉山荘で町長、秋田営林局長、県林務部関係者らと懇談。県森林組合連合会長でもある町長は、「林業に関する各種制度は、創設当時そ



町内の製材工場を視察する一行

のままのものが多く、農業に比べて遅れている」とし、「林道整備などへの補助率が低い」「造林融資資金の据え置き期間が短い」など実例を上げて林業の現状を説明しました。さらに、「外材との価格競争に勝つためにも基盤整備は国で進めて欲しい」「国(営林局)は、国有林の「直営直用」を改め、山の手入れから伐採までを民間林家に任せるべきではないか」などの意見を述べました。

また、秋田営林局長が、仁別自然休養林について、県林務部では、県木造住宅株式会社に、それぞれ現状を説明しました。



「国際化に対応した農業問題懇談会」の皆さんに「だまこもち」をごちそう
(12月3日、赤倉山荘で)

「だまこもち」 ふるさとおにぎり百選に

本町の名物料理である「だまこもち」が、「ふるさとおにぎり百選」に選ばれました。

ふるさとにおにぎり百選は、農林水産省と全国農協中央会、全国米穀協会が中心となって全国各地に伝わるおにぎりやおしずし、まぜごはんを集めたもの。全国の知事に地元で自慢できるおにぎり、すし、まぜごはんを推薦してもらい、このほど全国料理学校協会会長の辻勲さんから十二人の審査委員が選定しました。

県内からは、「だまこもち」のほか、「山菜のまきずし」「赤ずし」が選ばれました。「だまこもち」の作られる地域は、南秋田郡、北秋田郡、山本郡と紹介されています。

ねんきん通信

納めましたか

国民年金保険料

国民年金の保険料はもう納めましたか。納め忘
れがないか一度確かめてください。
保険料を納め忘れていたと万一の事故のとき、
障害基礎年金や遺族基礎年金が受けられないばか
りか、将来、老齢基礎年金さえ受けられない場合
があります。
保険料の納付方法として、直接納付のほかに、
預金口座からの口座振替納付があります。納め忘
れの心配や、毎月納める面倒がありませんので利
用してください。



草皆 定雄 さん

「十一月六日、妻とともに
皇居で天皇陛下からおほめと
ねぎらいのお言葉をいただい
て参りました。日本人として
最高の榮譽と思っております」
と受章の感激を語る草皆さん。
三十八年間にわたる消防団活
動が認められたことを心から
喜んでいました。
昭和二十一年に馬場目村警
防団に入団、二十三年には馬
場目村消防団団員、三十年に

消防団ひとすじ38年

昭和六十一年秋の叙勲で、本町から草皆定雄さん（六十
二歳・帝釈寺）が、受章の榮譽に輝きました。草皆さんは、
昭和二十一年から三十八年間、本町の消防団員として地域
に奉仕、長年にわたる消防・防災活動が認められ、勲六等瑞
宝章を受章しました。

秋の叙勲
草皆 さん
(帝釈寺) 受章

五城目町馬場目消防団団員と
なるなど、本町の消防組織の
変遷の中で任務に精励。五十
九年、五城目町消防団分団長
を最後に消防団を勇退しまし
た。

「三十八年の間にはいろい
ろなことがあり、反省する点
も多々あります。微力な私が
受章できたのは、町内の皆さ
んのおかげと感謝しておりま

す」とけんそんする草皆さん。
しかし、馬場目地区の運動会
で団員のポンプ操法を披露す
るなど、地域住民への防火思
想の浸透にも尽力。昭和五十
二年に分団長に就任以来、勇
退するまでの八年間、分団区
域内で無火災を続けた実績は
高く評価されています。
「退団したからといって私
の消防人としての使命が終つ
たわけではありません」と語
る言葉からは、三十八年間、消
防団活動一筋に務め上げた草
皆さんの気概と、社会奉仕へ
の強い信念がうかがえました。

馬川小の記念碑建立
学舎の地を後世に



町長らの除幕で記念碑を披露

馬川小学校跡地に同校の記
念碑が建立され、十二月七日、
関係者八十人あまりが参加し
て除幕式が行われました。
この記念碑は、馬川小学校

の前身である高崎小学校から
数えて百十年目に当たる今年
学舎のあった場所と同校の由
来を後世に伝えようと、地区
の関係者による建立実行委員

会と町教育委員会が中心にな
って建立したものの。建立実行
委員会には、二百七十人あま
りから資金が寄せられ、町で
も補助金を交付するなど援助
しました。
高さ約六〇センチの台座に
載せられた記念碑は、幅約一
六五センチ、高さ約一八〇セ
ンチの男鹿の自然石でできて
おり、表側には、伊藤助役の
書で「馬川小学校跡」と記さ
れています。また、裏側には、
同校の沿革と校歌が刻まれて
います。

馬川小学校は、明治九年、
高崎村字熊の台に高崎小学校
として開校。以後、校名の改
称、校舎の移転改築があり、
記念碑が建立された高崎字前
田に移ったのが昭和十年。そ
して昭和四十五年二月二十八
日、火災で校舎を焼失し、同
年四月に五城目小学校と統合
しました。

その火災から免れた体操場
は現在、公民館馬川分館とし
て活用され、また、敷地や校
庭は分館のグラウンドとなっ
ています。当時、校庭だった
一角には柳の木が残っており、
記念碑はそのそばに建てられ
ました。

除幕は、関係者の見守る中、
町長はじめ、町議会議長、教
育長、実行委員会の館岡辰一
郎氏、馬川小学校最後の校長
である川上富三氏によって行
われました。その後、町民セン
ターに会場を移して竣工式と
祝賀会が開かれました。

御歳暮には

ふるさと心のこもった
贈りもの。

(全国地方発送致します)



酒専門店

タカツ

五城目町中央通り

(52) 2262

五城目町この一年

昭和61年を振り返る



町長、町議会議員と加藤千代田区長との会談が実現し、本町と千代田区との都市交流スタート（5月31日、千代田区役所で）



佐竹明夫氏は、木村謹治博士の特別展が開かれている五城目城を訪れ、伯父・木村博士の遺品をなつかしうに見つめていました（7月17日、五城目城で）



「子どもの祭典」に招かれた秋田市の「八橋子ども会」の皆さんは、町内の子供たちとお手玉づくり（写真）などを楽しみました（8月8日、五城目小学校グラウンドで）

今年、広報で町内の皆さんにお知らせした町の行事、できごとの中から特徴的なものを集め、昭和六十一年を振り返ってみました。

また、写真はいろいろな方たちとの出会い、交流の「ひとこま」を拾い集めてみました。

- ▽二月一日 五城目町消防団団長に畑沢一視氏が任命されました。また、同副団長に越高儀市氏と伊藤義男氏が、二月六日付で任命されました。
- ▽二月七日 役場内に五城目町雪害対策本部が設置され、積雪による被害の防止などに万全を期することにしました。
- ▽三月十一日 三月定例町議会が開かれ、町議会議員の定数が二人削減され、二十二となりしました。（十八日）
- ▽三月二十日 矢場崎住宅団地に公営住宅五戸完成。木造公営住宅のモデルとして町内外から注目されました。
- ▽四月一日 赤倉山荘が秋田県市町村職員共済組合の指定保養所となりました。
- ▽四月三日 臨時町議会が開かれ、議長に小熊金之助氏、副議長に佐々木市太郎氏がそれぞれ再任されました。
- ▽四月八日 五城目市発祥の地の記念碑が、馬場目町村農村公園の一角に建立されました。
- ▽四月二十日 映画「イタズ・熊」の撮影が、本町の北ノ又・蛇喰地区を舞台に始まりました。以後、阿仁町と本町をロケ地として、来春三月まで撮影が行われることになりました。
- ▽四月二十六日 矢場崎公営住宅が一般に公開されました。（二十七日）
- ▽五月一日 広報「ごじょうめ」に有料一般商業広告の掲載を始めました。
- ▽五月二日 秋田県建具展が三日間の日程で広域体育館を会場に開かれ、町内業者の作品が上位三賞を独占。また、入賞三十点の中に町内業者の作品十点が入るなど、本町の建具技術、デザインの優秀性が高く評価されました。
- ▽五月十五日 県教育センター主催の複式学習指導研修講座が、杉沢小学校を会場に開かれました。参加者たちは同校の授業を視察し、実務的な内容について研究、協議しました。
- ▽五月二十六日 五城目橋に歩道を取り付けるための工事が始まりました。
- ▽五月三十一日 町長と町議会議員が上京し、千代田区長と会談。本町と千代田区との姉妹都市提携を前提とした交流が始まりました。
- ▽六月二日 矢場崎住宅団地第二期造成地十六区画の分譲が始まりました。
- ▽六月三日 町功労者、特別功労者を招いての茶会が、雀籠公園で開かれました。



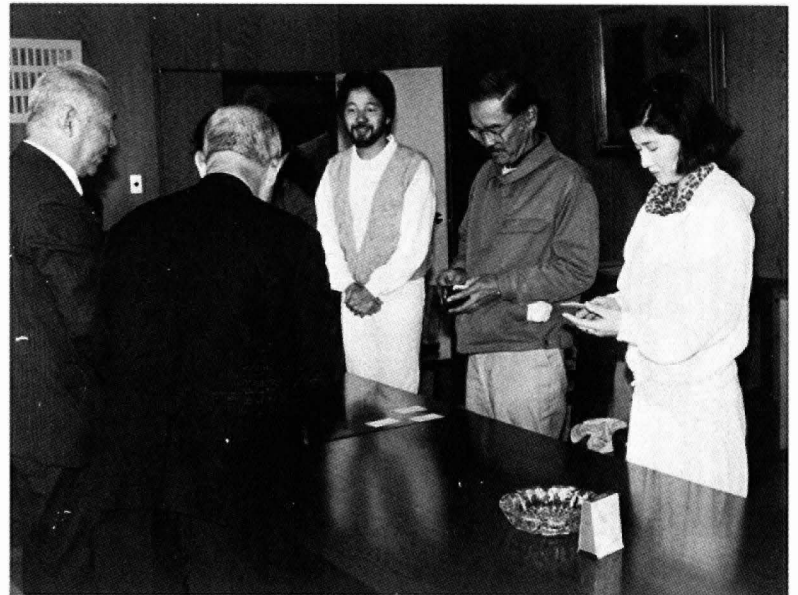
日輝会会長の三上隆彦画伯の講演と墨絵の実演会が開かれ、三上画伯は躍動感あふれる馬を一気に描いてみせてくれました（6月9日、役場正庁で）



「ふるさと文化シンポジウム」では、助役がパネリストとして登壇し、行政の立場から意見を述べました（11月20日、広域体育館で）



矢場崎公営住宅を視察した知事は、入居者との記念写真に心よく応じてくれました（7月11日、矢場崎公営住宅で）



本町でのロケが一段落した桜田淳子さんが映画撮影のスタッフと役場を訪れ、町長、助役らにあいさつ（5月6日、役場庁議室で）

- ▽六月三日 「あいさつ運動推進委員会」の初会議が開かれ、「あいさつ運動モデル道路」を設定し、今後の活動内容などについて協議しました。
- ▽六月九日 美術家グループ「日輝会」の会長・三上隆彦画伯が来町。「日輝会」から本町に、五年間に百点の美術作品が寄贈されることになりました。
- ▽六月二十一日 木材流通の中心的役割を担う「五城目木材流通センター」が、杉ヶ崎（田町）に完成しました。
- ▽七月一日 馬城橋の架替工事が始まりました。
- ▽七月六日 史上二回目の衆参同日選挙が行われました。
- ▽七月十一日 佐々木秋田県知事が来町し、五城目電機株式会社と矢場崎公営住宅を視察した後、役場正庁で町内の関係者らと懇談しました。
- ▽七月十六日 五城目町町内会会長の定例総会が、役場正庁で開かれ、会長に新谷秋蔵氏が選出されました。
- ▽七月十七日 俳優の佐竹明夫氏が来町。伯父の木村謹治博士展が開かれている五城目城や朝市を訪れた後、役場正庁で講演しました。
- ▽八月八日 子どもの祭典に秋田市の八橋子ども会の皆さん三十七人が参加してくれました。
- ▽八月二十二日 八人の委員からなる長寿社会構築対策懇談会が設置されました。
- ▽九月二十一日 二年間にわたって行われた町内対抗総合体育大会で浅見内町内会が優勝し、全町体育祭の閉会式で表彰されました。
- ▽九月二十五日 社団法人・日本損害保険協会から町に高性能の消防ポンプ自動車が寄贈されました。
- ▽九月二十七日 「日輝会」の皆さん二十四人が、スケッチ旅行で本町を訪れました。
- ▽十月十九日 町功労者表彰式典が広域体育館で開かれ、町功労者として松橋福蔵氏、安田鶴治氏、菊地庄七氏、沢田石廣治氏が表彰されました。
- ▽十一月十日 木造住宅産業推進部会と中央線シンボルロード沿道整備推進部会発足。
- ▽十一月十日 五城目町行政改革大綱がまとまり、議会全員協議会に報告されました。
- ▽十一月二十日 県と町の主催で「ふるさと文化シンポジウム」が、広域体育館で開かれました。
- ▽十一月二十二日 千代田区神田旭町の佐竹稲荷神社で秋田杉の植栽と記念碑の建立が行われ、本町と神田旭町との交友関係が結ばれました。
- ▽十二月三日 農林水産、経済界の幹部、学識経験者で構成している「国際化に対応した農業問題懇談会」の一行十三人が、林業の実情を視察するため来町。赤倉山荘では林業関係者と懇談しました。
- ▽十二月七日 馬川小学校跡地に馬川小学校の記念碑が建立されました。

森山荘訪れ体操や歌披露

五城目小学校の3年生

五城目小学校の3年生の有志45人が、11月27日、老人ホーム森山荘を訪れ、ホームのお年寄りたちに体操と歌を披露。紙で作ったトートエンポールをプレゼントしました。

この体操と歌は、同小学校の学芸会で発表したもの。また、トートエンポールは、子供たちが図工の時間に作ったもので、場所を取らずどこにでも飾れるそうです。お年寄りたちは、孫のような子供たちの楽しい体操や歌、心のこもった贈り物に大変喜んでいました。

これまでに、同小学校の1、2年生の皆さんも森山荘を訪れ、劇を披露したほか、2年生は作文と絵、1年生は紙しばいをプレゼントしています。また、今月の19日には4年生が訪問することになっています。学校では、子供たちがホームの慰問で奉仕といたわりの心を育んでくればと話していました。



お年寄りに体操を披露する子供たち

カメラレポート



小玉さんの作品を前に講話を聴く学級生たち

カメラおばあちゃん講話

婦人学級講師に小玉さん

町の生涯教育の一つである婦人学級では、11月25日、町民センターで11月の学習会を開きました。今回の学習は、「カメラおばあちゃん」という愛称で知られている小玉チエさん（67歳・秋田市檜山）を招いて、女性の生き方について考えるもの。

小玉さんは、45歳になるまで本町に住んでおり、五城目町は古里。各写真展で数多く受賞しており、今年、念願の二科展初入選を果たしました。また、俳優の石坂浩二さんとカメラのCMに出演したこともあります。

学習会では、小玉さんが「ファインダーから見た世界」と題して、海外旅行での体験や写真撮影について講話、学級生からの質問にも気さくに答えていました。また、小玉さんが世界各国を旅行して撮った写真約30点も紹介されました。

お知らせ

地代家賃統制令が 廃止になります



食品・添加物等の
年末一斉取締り

昨年末の臨時国会で、地代家賃統制令（昭和二十一年勅令第四四三号）の一部が改正され、同令は、昭和六十一年十二月三十一日をもって失効（廃止）することになりました。

この統制令は、戦後の著しい住宅難を背景に制定されたものです。今日では住宅事情なども改善され、統制を継続していく必要性が失われてきていること、統制の対象が一部の住宅およびその敷地に限定されていることなどから、本年末をもって廃止されることになったものです。

なお、現行の統制令の統制対象は、昭和二十五年七月十日以前に建築された住宅（延べ面積九十九平方メートル以下）およびその敷地に限定されており、統制令の廃止は、統制対象以外の一般の借地・借家の賃料に影響を及ぼすことはありません。

また、統制対象の借地・借家についても、統制令の廃止後も従来の借地・借家契約は

そのまま存続し、地代・家賃額も廃止によって自動的に引き上げられることはありません。なお、借地法・借家法に定められた事由がある場合に限り、その借地・借家状況、賃貸借関係の経緯等に即して、当事者間の話し合いで決められることになります。

全国実業団バレーボール 選抜リーグ五城目大会

▽日時 昭和六十二年一月十一日（日）午前十一時～

▽場所 広域体育館

▽試合

（男子）

コスモ石油―東レ九鱗会（女子）

富士フィルム―東芝深谷

▽前売入場料（一）内は当日

大人千円（千三百円）

中高校生五百円（七百元）

小学生三百円（五百円）

▽前売所・問い合わせ先

広域体育館内体育協会事務局

局 ☎52-4415

広報縮刷版第2巻

追加予約を受け付け

「広報ごじょうめ」の縮刷版第二巻は、十二月下旬に完成する予定です。この縮刷版の予約注文は十二月十日で締め切りましたが、町では追加予約分を見込んで増刷しますので、購入希望の方は申し込んでください。

購入の申し込みは、電話などで役場文書広報課（☎52-2100）へお願いします。

町内の話題

しめ飾りを活動資金に

石崎老人クラブ

石崎老人クラブ(代表・加藤亮悦さん)では、十一月七日、石崎公民館で正月用のしめ飾りづくりを行いました。会員たちは昔、手でなわをなつた経験者で、あざやかな手さばきで「しめなわ」を編み上げていました。

石崎老人クラブは会員二十五人。会の活動資金にしようと、近くに自生している「スゲ」を利用したしめ飾りづくりを計画したものです。

しめなわの材料の「スゲ」は昔「みの」などに使つた植物で、でき上がりがワラより美しく、また、いろいろなしめ飾りを持ち寄つて研究したとあって、なかなかのできばえ



「スゲ」でしめなわを編む会員

でした。

このしめ飾りは車用で、全部で五十個作り、一個二百五十円で地域の家庭に販売するそうです。また、特注の大きいものは一個五百円。

代表の加藤さんは「石崎老人クラブは会員が少ないので補助金はいたいていありませんが、毎週一回必ず集会を開いており、大きいクラブに負けない活動を続けたいと考えています」とはきつていました。

出品者には白菜と大根

つけものコンクール

今回で六回目を数える紀久栄町内会の「つけもの」コンクールが、十一月九日、午後七時半から同町内会の集会所で開かれました。

コンクールには、町内の主婦などが工夫を凝らしてつくつた「つけもの」二十三点が出品されました。審査員には、公民館の坂谷さんがあたり、「つけもの」について、いろいろな指導をしました。また、参加賞として出品者全員に、白菜と大根が配られました。

コンクールの入賞者と出品名は次のとおり。(敬称略)
▽一位 佐藤テツエ(にしんづけ)
▽二位 金子和子(キャベツの重ねづけ)

「つけもの」をテーブルに並べてみんなて批評



▽三位 畠山タミエ(なたづけ)
▽アイデア賞 本田ノリ子(からし菜の親子づけ)

町内小中学生三人入選

明るい選挙ポスター

県選挙管理委員会などが主催した明るい選挙啓発ポスターコンクールの結果が、このほど発表され、町内の小中学生三人が入賞しました。

このコンクールには、県内の小中学校と高校から五百六十四名の応募があり、入選作は十五点。
入選した皆さんは次のとおりです。(敬称略、順不同)

地域の活性化にあなたの発想を

県では、地域で考えられているさまざまな発想を実現するために「地域の発想を育てる会」を発足させました。この会は、地域の活性化につながる発想をもちながら「どのように生かしたらよいのかわからない」

という方に、各界の有識者がアドバイスをするものです。

▽相談内容

一・五次産業の振興、地場産業対策、観光レクリエーション開発、まちづくり、イベント、交流事

業など地域の活性化となるもの
▽申し込み方法
役場企画調整課(☎52-2100)に用意してある用紙に記入し、直接「育てる会」事務局へ申し込んでください。

▽申し込み先
〒010 秋田市山王四丁目一― 秋田県地域開発課内・地域の発想を育てる会事務局(☎60-1924)

入選した(左から)館岡くん、千葉さん、浅野さん



▽館岡教伯
五城目小学校五年
▽千葉奈々子
五城目小学校五年
▽浅野純子
五城目第一中学校三年

ご存じですか

労信協の保証で融資が受けられます

労働者信用基金協会は、主に労働組合をもたない労働者へ労働金庫が融資をする際に、保証をする機関です。

労働者の皆さんは、毎日職場で働き、給料を得て生活しているわけですが、急にまとまったお金が必要になる場合があります。このような場合、そのための準備があればよいのですが、給料生活をしている労働者にとっては、なかなか大変なことです。

だからといって、返すあてのない一時しのぎの借金をすることは、あとになってますます大変なことになります。特にこれからは、入学・進

学を控えた子供さんをお持ちの家庭では、そのための資金を用意しなければなりません。

このような場合、県・市・町村が出捐している財団法人秋田県労働者信用基金協会が保証し、秋田県労働金庫が融資します。融資は次のようなものがあります。

- ①教育ローン
三百万円まで(無担保)
 - ②くらしのローン
百万円まで(無担保)
 - ③ホームプランローン
一千万円まで(有担保)
- ▽申し込み・問い合わせ先
秋田県労働金庫山王支店
(☎62-4215)



水泳記録会

大会新記録が続出

第五回水泳記録会(五城目町水泳協会主催)は、十一月三十日、屋内温水プールで町内外から約二百五十人の小学生が参加して開かれ、三十四の大会記録が更新されました。

大会結果は次のとおりです。(町内関係分、数字は順位、太字は大会新記録)

- 【小学校低学年】
- ▽自由形25M ②伊藤進
- ▽背泳50M ③伊藤進 48秒2
- 【小学校高学年】
- ▽背泳50M ②山谷晃子
- 【中学校】
- ▽自由形100M ①柴田孝市 1分08秒1
- ②栗山健 1分08秒4
- ③山谷大介
- ▽自由形200M ①柴田孝市 ②伊藤利通 ③館岡和之
- ▽平泳100M ①畠山徹 ②伊藤利通 ③館岡和之
- ▽平泳200M ①畠山徹 3分00秒
- ②館岡和之
- ③館岡和之
- ▽背泳100M ①伊藤誠晃 1分15秒4
- ②伊藤守
- ▽背泳200M ①伊藤誠晃 2分40秒6
- ②伊藤守
- ▽個人メドレー 200M ①栗山健
- ②山谷大介

全町ロードレース

十一月二十三日

- 【男子の部】
- ▽小学校五・六年共通(一〇〇〇M)
- ①石井宏臣(馬) 3分31秒
- ②佐々木正徳(五) ③伊藤昌(五)
- ▽中学校共通(二〇〇〇M)
- ①猿田純(五) 6分50秒
- ②川上順(五) ③三浦徹(五)
- ▽三十歳代(三〇〇〇M)
- ①畠山徳義 11分30秒
- ②四十歳代(三〇〇〇M)
- ①小玉重春 11分20秒
- ②佐々木次夫 ③加藤昭男
- ▽五十歳代(三〇〇〇M)
- ①小玉三治郎 12分34秒
- ②六十歳以上(三〇〇〇M)
- ①遠藤春治 16分43秒
- 【女子の部】
- ▽小学校五・六年共通(一〇〇〇M)
- ①佐々木陽子(五) 4分42秒
- ②館岡寿子(五)

煙沢正作杯

バスケット

十一月三十日

- ▽中学校共通(一五〇〇M)
- ①小林真貴子(五) 5分37秒
- ②小林美智子(五) ③小林聡子(五)
- 【男子共通(六〇〇〇M)】
- ①越高善和 22分01秒
- ②伊藤清春 ③鷺谷信広
- ▽一回戦は町内関係分のみ
- ▽男子一回戦
- 五城目一 68-24 秋田南
- ▽同準決勝
- 五城目一 52-39 大曲
- 八郎潟 34-32 大森
- ▽同決勝
- 八郎潟 33-30 五城目一
- ▽女子一回戦
- 琴丘 50-28 五城目一
- ▽同準決勝
- 井川 52-42 琴丘
- 八郎潟 55-40 角館
- ▽同決勝
- 八郎潟 58-36 井川
- 南秋卓球選手権
- 十一月二十三日
- 大瀧村民体育館
- ▽中学校男子準決勝
- 五中A 3-0 羽城中A
- 富津内中 3-0 羽城中B
- ▽同決勝
- 五中A 3-1 富津内中
- ▽一般男子準決勝
- 五城目町 3-1 迷球会
- 天王町 3-1 大瀧村
- ▽同決勝
- 五城目町 3-1 天王町

五城目町へようこそ



町には、役場庁舎をはじめ温水プール、広域体育館、公営住宅などを視察するため、町外からたくさんの方々が訪れています。十一月に視察に訪れた方々は次のとおりです。(敬称略)

- 11月5日 秋田市商工婦人部(7人)
- 秋田市消費者学習(20人)
- 11月11日 青森県田子町林業視察団(17人)
- 11月12日 新潟県津川林業事務所(17人)
- 11月13日 山形県最上町林業視察団(17人)
- 11月17日 山形県羽黒町農業協同組合(25人)
- 11月20日 大瀧村役場(4人)
- 土崎将軍野婦人会(24人)
- 11月19日 中央地区建設技能組合協議会(30人)
- 11月20日 鳥海町役場企画課(3人)
- 仙北西森林組合(17人)
- 11月22日 山形県三川町公民館(12人)
- 11月26日 飯田川町明るい選挙推進委員(15人)
- 11月28日 秋田市南部公民館(11人)

五城目町を訪れて

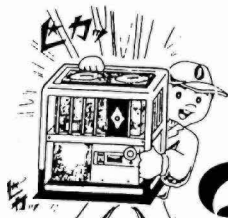
秋田市消費者学習サークル

那須 チカ子

澄みきった秋の日差しを受け、心も踊るような気持ちで五城目町の視察に出かけました。農協婦人部との対話集会を重点にした訳ですが、会合を取りもった役場農政課長さん始め、農協組織会長である佐藤幸先生など関係者には心からお礼申し上げます。

まず、五城目町市場については、豊富な生鮮食料品が揃っていることにびっくりした次第で、話しかけることによって、地域の対話がもたれ人間関係のつながりができている

どんなストーブでも修理します!!



- 反射ストーブのしん交換
- 分解整備
- 取付・点検

☎ 52-9497

信賴の炎を燃やして...

燃料

かぎりある資源、水を大切に

- 八富(有) 畑内 菅原 越加 石井 伊藤
- 柳士 沢藤 電水 高藤 井水 藤鐘
- 工電 二田 電気 水道 水道 水道 商店
- 務設 農機 店 道 道 道 店
- 店 店 店 店 店 店 店
- 75 52 52 75 52 52 52
- 52 52 52 52 52 52 52
- 26 26 26 26 26 26 26
- 09 09 09 09 09 09 09

五城目町指定水道工事組合

大河兼任のなぞ

18

反乱の原因

小野 一二



馬場目川と大川地区（竜馬橋付近）

津軽で討手の大将宇佐美平次が敗死したという知らせに、鎌倉はいまさらながら、この反乱の重大さに気づいた。

正月八日、頼朝は急いで足利義兼を追討使に任ずるとともに、海道大將軍千葉常胤、山道大將軍比企能員の派遣を決定した。また、奥州に所領をもつ結城朝光以下の御家人たちの出発を命じた。

これは、前年の奥州征伐に匹敵する陣容である。これによっても、鎌倉のシヨツクの大きさがわかる。

ところで、兼任はどうして鎌倉に対して反乱を起すに至ったのだろうか。兼任が由利維平にいったように、主人の仇を討つことは、当

時では例がなく、本心ではなかったと思われる。その原因は、ほかにある。

頼朝は奥州征伐後、陸奥と出羽に御家人を地頭として配置した。その時、伊予国（愛媛県）宇和郡を領する橋公業が、雄物川下流地域、湖東部、男鹿島の地頭となったことは、さきに書いておいた。

勝利者である頼朝が勝手に決めた奥羽の支配体制によって、兼任は自分の所領の上に御家人の地頭をいただくことになった。これは、奥州征伐の際に鎌倉軍に抵抗しなかった兼任にとつて大きな不満であつただけでなく、男鹿島や湊（土崎港）をおさえられたことによつて、海への出入口を失つた。

しかし、橋公業が地頭となつたことによつて海への出入口を失つた。水上勢力でもあつた大河兼任にとつて、致命的なことであつた。これを排除するためには、武力で対するしかなくなつた。そう決心すると、兼任の行動は実に速かつた。最初、男鹿島に進出するのにも、公業の本拠を潰すと同時に、重要な船越・腋（脇）本の港をおさえるためであつた。次に津軽に向かつたのも、北からの兼任の所領に対する圧迫を退けるだけでなく、当時国際的な貿易港となつていた十三湊との連絡を確保するためであつたと考えられる。

この時、津軽外三郡を領していた安東氏の動向は明らかではないが、兼任とは戦つていない。

康平五年（一〇六二）の清原氏の陣立てにある志方太郎（橋貞頼）・新方二郎（橋頼貞）でもわかるように、男鹿島や八郎潟を拠点とする水軍橋氏が大河氏と同流である。この橋氏が新任地頭橋氏とどんな関係にあつたのか、偶然の同姓なのか、それとも何かのつながりがあつたために、この地方の地頭職を得たのかなど、はっきりさせるものはない。

ことは、秋田ではなかなかできないことでもあり、非常に関心を持ちました。また、産業祭については、地域が一体となれる事業でもあり、特に木工製品には驚きました。

次に対話集会についてですが、生産者としての真剣な取り組みには感心させられました。流通機構と販路、PRについてはこれからのように思われます。例えば、比較的生産量の多いホーレン草のPR方法をもっと考えたり、婦人部で取り組んでいるつけ物やおやき（おやきの焼き面に五の字を入れるとか）を工夫するなどして、それらの販路を秋田市に求め、秋田市内で行われる各種多数の催しごとに利用していくことが必要ではないでしょうか。同時に、秋田市内の販路流通機構も研究し、五城目地区の特産物を今以上に生かしてほしいと思います。

医療費はお互いに大切に使いまじよう

人は、病気になつて初めて健康であることの尊さを知るものです。町では、皆さんの健康を守るために検診事業を行っていますが、受診者が少ないのが実態です。

ある調査では、検診を受けない方々が重い病気にかかる率が高いという結果がでています。

町が行う健康診断（集団検診）は、必ず受けてください。また、自分の健康は自分で守り、栄養、運動、休養に心掛けてください。このことは、医療費の節約にもなり、健康で明るい町づくり、家庭づくりにつながります。

医療費はなぜ増える

医療費は年々増えています。この原因として次のことがあげられます。

- ① 高度な検査や医療技術が保険に採用された
 - ② 高齢者人口が増えた
 - ③ 医者にかかりやすくなったので医者を渡り歩く人が増えた
 - ④ むやみに時間外に受診したり往診を頼んだりすることが多い
 - ⑤ 成人病などの慢性疾患が増えた
- 医療費のお知らせ**
- 皆さんの家庭で使われた医療費が、国民健康保険からいくらか支払われているかを知っていたため、町では「医療費等についてのお知らせ」をしています。
- これは、皆さんに正しい医療の受け方と自らの健康管理、健康づくりの大切さを再確認していただき、老人保健事業

Liquor & Foods



ワインから
おトーフまで
CVS
あらがわ

五城目町神明前

T 52-3903

郷土色豊かに……「まごころ」こめたお菓子

草皆製菓
ガトーきたき
長栄堂
光新堂
八日月堂
松月堂
伊藤菓子店
あやまさき
あまらや

五城目菓子組合

の健全な運営にご協力をお願いするためのものです。このお知らせについてのお問い合わせは、役場の保健衛生課（52-2100）にどうぞ。

1 月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原樋口、岩城町	5 日・8 日・12 日・19 日・22 日 26 日・29 日
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1 区～4 区)	6 日・9 日・13 日・16 日・20 日 23 日・27 日・30 日
大川(1 区～4 区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	7 日・10 日・14 日・17 日・21 日 24 日・28 日・31 日

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町	10 日・第 2 土	24 日・第 4 土
新里町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	9 日・第 2 金	23 日・第 4 金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	8 日・第 2 木	22 日・第 4 木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1 区～4 区)	14 日・第 2 水	28 日・第 4 水
大川(1 区～4 区以外の地区)、森山地区、馬川地区	13 日・第 2 火	27 日・第 4 火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	12 日・第 2 月	26 日・第 4 月

- 注 意
- ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
 - ・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
 - ・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
 - ・ゴミ 1 個を 10kg 以内にこん包して出してください。
 - ※ 1 日から 4 日までは収集を休みます。

五城目町清掃センター TEL52-9904

年末のし尿汲み取り

早めに申し込みを

年末のし尿汲み取りは、次の予定となっています。汲み取りの必要がある家庭は早めに業者に申し込んでください。

なお、仕事開始は一月七日になっています。

▽農村部 十二月二十日まで

▽町部 十二月二十五日まで

▽汲み取り業者

・五城目衛生舎(工藤) TEL52-3867

・南秋衛生(菅生) TEL52-4063

12 月の町税

町県民税第 4 期分と
国保税第 4 期分の納期限は
12 月 25 日です
納期内納付に
ご協力をお願いします



預 善 意 銀 行
託 者 行

(敬称略)

・九月二十七日

二万円 下山内 永井久雄
(亡娘才貴子様の香典返しとして)

・十月二十日

三万円 寺庭 石井光雅
(亡父光夫様の香典返しとして)

・十月二十五日

二万円 谷地中 佐藤祐耕
(亡娘チエ様の香典返しとして)

・十月二十八日

三万円 下樋口 笹尾俊太郎
(亡父俊一様の香典返しとして)

・十一月四日

二万円 畑町 千葉誠
(亡母テツエ様の香典返しとして)

・十一月五日

八千一百十円 馬場目青年会
(十一月二日馬青祭におけるバザーの収益金を寄付したもの)

・十一月十日

五千元 西野 千田善一
(拾得物の謝礼金を寄付したもの)

・十一月十三日

四千八百八十円 五城目第一中学校
(十一月二日五中祭におけるバザーの収益金を寄付したもの)

・十一月十三日

三万円 畑町 工藤耕作

(亡母トキ様の香典返しとして)

・十一月十九日

五万円 大川四区 長谷川恵一
(亡父晃俊様の香典返しとして)

・十一月二十二日

三万円 上樋口 鳥井美佐男
(亡母リノ様の香典返しとして)

・十一月二十二日

三万円 長面 小玉久子
(亡母チエ様の香典返しとして)

・十一月二十七日

二万円 昭辰町 広瀬一美
(亡母テツノ様の香典返しとして)

・十一月二十八日

三万円 町村 伊藤春光
(亡母チナ様の香典返しとして)



森山 荘 庄に
寄せられた善意
(敬称略)

・十一月十二日

食用菊 5kg 岡本 小玉嘉市
(十一月十五日)

慰問、手造りケーキ百個
五城目高校生徒三十名

・十一月十七日
理容奉仕十名
今町 小杉田啓一

・十一月十八日
鯉 7kg
米沢町 長谷川倉太郎

・十一月十九日
歌と踊り、交通安全講話、みかん二箱、持ち寄り物ブ
レゼント
五城目婦人会

・十一月二十四日
串だんご百本
美味会(代表・小玉マリ子)

(代表・阿部ミワ)



善 意
(敬称略)

▽十月九日

杉沢中学校に寄贈
図書券二十万円
県公営企業

(県公営企業発足三十周年
事業の一環として)

▽十一月十一日

富津内小学校に寄贈
ピアノ用いす 一脚
小池町 今村書店

▽雀館児童館に寄贈
雑誌 二十二冊
中川原 石井大貴

訂正とおわび

広報「ぎょうめ」第五五三号(十一月一日発行)の「善意銀行預託者」の欄で、「亡娘サツ様」とありましたが、「亡娘才貴子様」の誤りでした。おわびして訂正いたします。